

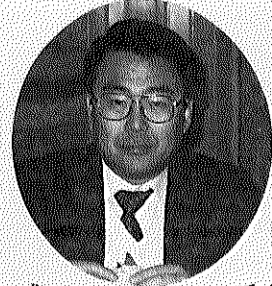
役員も労災保険に
加入できる
労働保険事務組合

社団法人 大森工場協会 会報

第 30 号
平成 4 年 5 月 25 日
発行 社団法人 大森工場協会
編集委員会
東京都大田区中央2-11-10
TEL 03(3771)4744・(3772)6474
FAX 03(3772)9340
印刷 城南印刷工芸(株)
TEL 03(3752)3391

YMクラブ研修旅行

中国・経済特別区見たまま 深圳市 3 工場を見学



舟久保利明



1992年3月20日 深圳市を訪問。

広森国際有限公司の柴山氏のお骨折りで中国の現在の経済特別区として指定されている深圳市の工場を3ヶ所見学する機会に恵まれた。

- 利安能電子有限公司……簡易電子計算機
 - 時運達(深圳)電子有限公司……いわゆるウオッチの類(各航空会社向)
 - 広遠実業有限公司……景品(マクドナルド向)
- 三者に共通している点は、柴山氏の会社の取り引き関係によるため、その生産品目は普通店頭販売されるようなものではなく、いわゆる景品とか贈答品の生産工場であった。

深圳市：面積は東京都に匹敵し、10年前は人口5万人だったが、現在は220万人ということ、市内人口の平均年齢が28歳である。町は造られたという感が強く、道は直線で直角に交又している。平均気温も冬でも10℃そこそこである。

広州の方面からの膨大な若年労働力を吸引しつつ、現在も膨張を続けているという。

深圳の経済特別区から経済区に入っても、人の流れは物凄く、人間でなくアリの動きを連想させた。帰り道で香港テリトリーに入ると人の数は激減した。



見学先の玄関前で

深圳市と香港を往復するトレイルの数は凄く、税関付近は常に渋滞していた。

進出企業は香港が多く、次いでヨーロッパだという。日本企業も少しはあった。

日本の機械も射出成型の分野で用いられていた。

○賃金：詳しくは尋ねられなかったが、女子で1万〜1万5千円。但し労働時間は200〜250h/月、50〜60円/1h、1人の平均生産額30万円/月。残業は2hで、それ以上は法律で禁止されているという。

○労働者：3社の共通点は若年女子労働者が殆どで18〜23歳(ひよこっつ)と15才位の女の子も居た。隣に寮があり、欠勤や遅刻は皆無とのこと。

○作業現場：日本の流れ作業生産工場と類似しているが、塗装工程、射出成型の工場は環境に問題がありそうであった。女子行なわれ、細かく静かに大量に生産が行なわれていたが、一昔前の日本の繊維工場の女工と類似しているかも……

○生産品目：3社の共通点は店頭に出べられるものではなく、いわゆる景品や贈答品であった。部品は香港から調達するという。

○経営者：皆、香港人がオーナーであり、その年齢は極めて若く、30歳代が珍しくない。



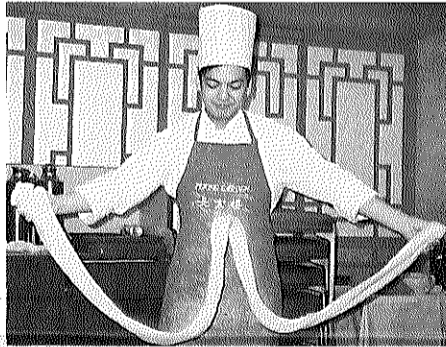
林立するビル

総合的感想
見た範囲では低賃金、若年労働力豊富ということに尽きる。我々の見学した工場は基幹産業とは無関係ではあったが、これが日本の工業製品と競う形になった場合、大変なことになると感じた。少々の設備の省力化では全く追い付かない。それ程の労働力のパワーを感じた。

しかも社会主義体制中の解放政策にのっとり行なわれており、その行く末は全く見当もつかない。いずれにしろ中国の施策が変換しようとも、動き出した深圳の方向は簡単には変更出来ないだろう。そしてその力は今後益々増していくだろうと思われる。

このこと自体、1997年の香港租借の期限切れと開放政策が密接に関わっていることによるのだろう。言えることは、あと数年のうちに量から質への転換が生じ、深圳市そのものが激変するであろうということ位であろう。

私自身、北京3回訪問の実績があるので、余計に忘れ難い光景を見た気がした。(舟久保 記)



流石本場！ソバ作りの妙技



お料理も抜群



作業風景

中国人研修生報告

座学の修了式和やか

1か月にわたる座学が終り、11名の研修生と関係者による修了式が行なわれた。来日以来懸命に日本語と取組み、ここに自作の作文を日本語で読みあげるまでになった。

座が盛り上がる頃時間外の勉強の成果としてカラオケで演歌が披露された。



丸山講師から研修生一人一人に修了証が手渡され笑みがこぼれる
研修生の手作りによる本場の中国料理が並んだ会場



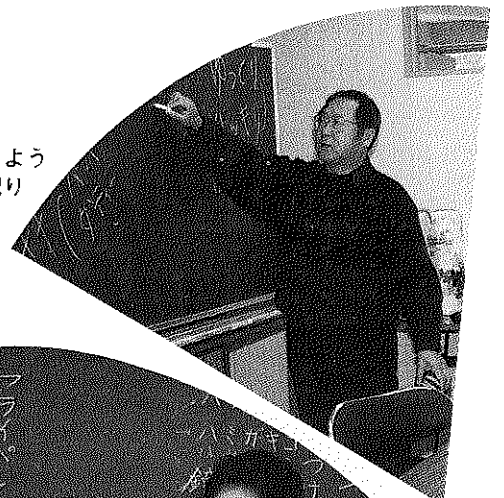
日本語を猛勉強

2月19日に来日した、11名の研修生は、大森工業会館において1か月にわたって、日本語・法律・生活習慣を学習した。(株)アポロ通信工業の中道社長、(株)昌栄の新城社長、丸山講師が指導にあたり、1日8時間の学習をこなし、研修生は寮に帰った後も作文・日記等に取り組み、短期間のうちに急速な進歩を遂げた。



通訳の李さんも交えて、明るい雰囲気での授業風景

日本人との交流がスムーズに行くようにと、敬語の使い方に迄、気を配りながら講師を努めた中道社長



体当たりの日本語教育
丸山講師は気合いで研修生を引っ張る

座学の講師、新城社長と自分達の紹介された協会会報に話が弾む研修生



フォト

ニュース

松沢精機、優秀賞を受賞

第3回大田区中小企業新製品・新技術コンクールで(株)松沢精機の押し込み型硬さ試験機《MXT70UL》が優秀賞を受賞し、西野区長より賞状をうけた。又、同社の《MTX70B》は産業会館精密測定室において活躍している。

西野大田区長より表彰される松沢精機社長



北京市機械工業管理局の幹部が来所

産業会館で開かれていた、大田区産業展に参加出品の為、来日していた同局対外経済工作処副処長・宛訪日団長ほか3名の方々が研修生激励と工場協会との親睦をかねて工業会館をおとずれた。研修状況見学と研修生との歓談のあと、木村会長に謝辞を述べると共に研修生をびびりし教育してほしいと要望した。



見学旅行会開催予告

開催期日
9月12日(土)~13日(日)1泊
見学先
三菱マテリアル(株)筑波製作所

三菱マテリアル(株)は、平成2年12月に三菱金属と三菱鉱業セメントが合併し、三菱グループの素材部門を代表する会社として発足しました。世界の総合超硬工具メーカーとして名高いこの会社が、この程工場を「つくば学園都市」にほど近い場所に新築、移転し、最新鋭の設備を駆使して操業を開始しましたので、昨年度から交渉しておりましたが、漸く9月12日午後の見学が正式に決定した次第です。奮って参加されます様、この日は前もって予定して置いて下さい。



☆詳細については全行程が確定次第おしらせします。

